

ネットワーク・レプリケーションは どうなったのか？

ファイバーチャネルの様に、ストレージ専用構築されたネットワークでレプリケーションを行うのは至極当然の選択に思われる。データがアレイに送られるので、データをどこにでもレプリケートできるからだ。

しかし実際には、**ネットワークベースのレプリケーション**には、あまりにも問題が多すぎた。データは、別の場所のアレイがデータの確認を行う前に、そこに届いてしまい、整合性の問題が起きた。さらにこのソリューションは複雑な設定と専用のハードウェアを必要とする。セキュリティも問題だった。

ストレージネットワークが多様化する中で、ネットワークレプリケーションは、実際に使われることが少なくなり、やがて市場から忘れ去られることだろう。